

# バイオ燃料地域利用モデル実証事業 (地域資源活用国民生活向上対策交付金(新規))

## 1 趣旨

- (1) バイオマス・ニッポン総合戦略において、国産バイオマス輸送用燃料の利用促進を図ることとされ、具体的な道筋を示す必要がある。しかしながら、我が国においては、小規模な実証試験の段階にとどまっており、実用化に向けたモデルを作って示すことが、まず第一の課題となっている。
- (2) また、農村地域に存する豊富な地域資源を有効に活用した地域振興策を講じる必要があるとともに、将来を展望したバイオ燃料製造過程全般の高効率化を図る必要がある。
- (3) このため、農村の地域資源を活用して、国民生活の向上と農村の振興を図ることを目的とし、バイオ燃料の低コスト製造技術の開発とともに、地域におけるバイオマス輸送用燃料の原料作物の調達から燃料の供給まで一体となった取り組みを行う大規模技術実証事業を創設する。

## 2 交付対象事業内容

地域における輸送用バイオ燃料の原料調達から燃料の供給まで一体となった取り組みを支援するため、市町村、都道府県、バイオ燃料製造事業者、バイオ燃料供給事業者、農業団体、バイオ燃料実需者等から構成されるバイオ燃料実証事業地域協議会（以下、「地域協議会」という。）の事業活動経費の助成、及び、輸送用バイオ燃料製造・貯蔵・供給施設の設置・改修等に要する経費及び技術実証に要する経費の助成を行う。

### ①ソフト事業

- ・地域協議会運営費
- ・バイオ燃料技術実証経費

### ②ハード事業

- ・バイオ燃料変換施設整備費
- ・バイオ燃料混合施設、供給施設整備費
- ・その他一体的に必要となる施設整備費

## 3 事業実施主体等

- (1) 事業実施主体  
地域協議会、農業団体等、バイオ燃料製造事業者、バイオ燃料供給事業者
- (2) 補助率           ソフト事業： 定額  
                          ハード事業： 1／2
- (3) 事業実施期間   平成19年度～平成23年度

## 4 平成19年度概算決定額       8, 544百万円

- ・バイオ燃料地域利用モデル実証整備交付金       6, 355百万円
- ・バイオ燃料地域利用モデル実証推進交付金       47百万円
- ・成果重視事業バイオ燃料技術実証補助金       2, 142百万円

(大臣官房環境政策課・農村振興局地域整備課・総合食料局計画課・生産局特産振興課  
・農林水産技術会議事務局研究開発課)